

2012年1月27日（金）配信在クリチバ日本国総領事館メールマガジン 155号

●クリチバ治安情報（クリチバ市及び大都市圏におけるATM破壊強盗の凶暴化）

1月17日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙はクリチバ市及び大都市圏におけるATM破壊強盗が白昼堂々で行われた旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせします。

1. 今年に入り、クリチバ市及び大都市圏において既に10件のATM破壊強盗が発生しており、従来より犯行手口が凶暴化している。以前は、夜間利用客がいない時間帯をねらいATM破壊強盗が行われていたが、最近では、白昼堂々と爆弾及び大型拳銃を所持した強盗団が人質を取りATM破壊強盗を行っている。

2. クリチバ市及び大都市圏における2011年ATM破壊強盗発生件数は、計49件だが、本年は既に10件に上り急増している。又、本年は銀行内ATMだけでなくスーパーマーケット、店舗及び小型ショッピングセンターに設置されているATMも強盗団の標的となっている。なお、サンタカタリーナ州に拠点を置く強盗犯がパラナ州においても犯行に至っている可能性がある。

●クリチバ治安情報（クリチバ市及び大都市圏におけるATM破壊事件の発生）

1月20日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は一般人を人質にするATM破壊強盗が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせします。

1. 19日、クリチバ市及び大都市圏においてATM破壊強盗が3件発生した。1件目はクリチバ市において、銀行支店内のATMを爆破しようとした男2人を逮捕、他2件についてはピラクアラ市及びコロンボ市において午前7時から8時30分の間に発生した。

2. 20日、午前8時15分頃、クリチバ市大都市圏アラウカリア市に所在するスーパーマーケット内ATMが爆破された。軍警察によると、拳銃を所持した男4人組がスーパーマーケットに押し入り、店員及び来客を制圧後、ATMを爆破し現金を奪い逃走した。

3. 警察は、クリチバ市及び大都市圏における最近のATM破壊強盗について、ダイナマイトを使いATMを爆破する組織及びバーナーを使い機械をこじ開ける組織の2種類の強盗団が存在することを公表した。

●第22回日本カレンダー展示会の開催

今般、在クリチバ総領事館は、パラナ元留学生協会（APAEX）との共催で、第22回日本カレンダー展示会を開催致します。

同展示会では、日本企業から寄贈されたカレンダーの展示及び販売、日本カレンダー協会より寄贈されたカレンダーの展示を通じ、日本文化の紹介をさせて頂く事で、日本への関心を更に深めて頂く事を目的としており、売上金につきましては全額慈善団体へ寄付される予定です。

同展示会の詳細は以下の通りです。

日時:2月4日(土)午前9時より午後5時まで

2月5日(日)午前9時より正午まで

場所:メルカド・ムニシパル内コンビベンシア広場

(市営市場・Mercado Municipal de Curitiba)

Av. Sete de Setembro, 1865 Curitiba

本件に関するお問い合わせ :

在クリチバ日本国総領事館

TEL : (41)3322-4919

Email : cgjcultura@terra.com.br

皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

●ブラジル経済（ブラジル南部における干ばつによる農業被害：報道）

1月17日付当地「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」紙は、伯南部の早魃により、16日、リッサ・パラナ州知事が同州に所在する399市の34%に当たる137市に対し、非常事態宣言を発令した旨報じているところ、記事の要旨を以下のとおり、お知らせします。

1. 16日、リッサ知事は、昨年11月からの早魃により大豆、トウモロコシ及びフェイジョン豆等の穀物被害が拡大している事態を受け、州内の西部、南西部、南部、中西部、北西部及び北部等の137市において非常事態を宣言した。

2. 被害実態につき詳細な検証はされていないものの、パラナ州農務局による試算では、同州地域の農業への被害は、夏季収穫として見込まれていた2,213万トンの穀物のうち11.5%に当たる255万トン、被害額にして15億2千万リアルに達し、また、被害者数は同州民全体の13%に当たる135万人に及んでいるとの由。

3. 早魃被害地域農業者への支援策として、同州及び連邦政府は、灌漑システム等のインフラ改善促進等の対策を実施する予定であり、総額4,700万リアルを必要としている。州南西部の農業者に対する種子や肥料の購入援助のみでも、1,550万リアルが必要とされる由。

4. 一方、同州西部トレド市の農業者は、今般の早魃被害を過去最大のものと見ている。通常1ヘクタール当たり平均3,500kgの大豆収穫を見込むことができるところを、過去最悪の被害を出したといわれる1978/79年の早魃では1ヘクタール当たり1,200kgの収穫、今期は今般の早魃を受けて1ヘクタール当たり645kgしか収穫できないと見られている。

5. なお、先日、パラナ州の早魃地域を含めた地域で降雨があったが、これら降雨は今後の種付けには有用であるものの、これまでの損失分を回復できるほど水量として満足なものではなかったと見られている。